

下册

读解日本语

范钦评 主编

中国医药科技出版社

读 解 日 本 语

下 册

主 编

范 钦 评

副 主 编

邢正阳 张学库 王立学

审 核

北畠富江先生 李继林

中国医药科技出版社

c、マッサージ機は買わなくても、使ってみることができる。

读解日本語

下 册

主编 范钦评

(上、下、练习册/套)

*

中国医药科技出版社 出版

(北京西直门外北礼士路甲 38 号)

天津宝坻第二印刷厂 印刷

新华书店北京发行所 发行

*

开本 850×1168mm¹/32 印张 10·75

字数 272 千字 印数 1—8,000

1991年12月第1版 1991年12月第1次印刷

ISBN 7-5067-0466-8/R 0494

登记证号：(京)075号 定：价12.00元 (套)

编写人名单

主 编

范钦评

副 主 编

邢正阳 张学库 王立学

编 者

范钦评 北畠富江 王立学 肖勇

李欣 李霞 邢正阳 马军 金坤

张学库 张忠革 颜 纲 王伟军

徐志田 郑锡均 许 暎 刘曙野

杜玉良 于莱莱 张永义

审 核

北畠富江 李继林

目 录

下 册

第41课	うでくらべ	1
第42课	けちくらべ	8
第43课	年中行事と信仰	16
第44课	ふしぎなカボチャ	23
第45课	浦島太郎	32
第46课	うばすて山	39
第47课	いなむらの火	45
第48课	首都東京	54
第49课	女医を目指して——吉岡弥生	63
第50课	東京の名所（一）	71
第51课	東京の名所（二）	78
第52课	神仙の島と常夜の国（一）	85
第53课	神仙の島と常夜の国（二）	93
第54课	村の英雄	102
第55课	すずめの生活	109
第56课	森林のおくりもの	115
第57课	青年よ、宇宙開発を！無限の夢が開拓を待ってい る	122
第58课	栄 養	128
第59课	あわてもの	134
第60课	夜明けの道	143

第61課	キャンプ生活一日記ー	151
第62課	花を追う人々	160
第63課	吉四六どんばなし	169
第64課	サマロ湖の変化	180
第65課	栄養と水産	187
第66課	「東京大空襲」を見て	194
第67課	赤んぼうになったおばあさん	202
第68課	人類文化のあけぼの	210
第69課	一枚の銀貨	218
第70課	一つの花	227
第71課	クラゲ骨なし	235
第72課	動物の体内時計	244
第73課	煙のゆくえ	252
第74課	三太とタヌキのしっぽ	260
第75課	外来語と日本文化	272
第76課	石段の思い出	283
第77課	スピーチの美学とは	294
第78課	自然を守る	303
第79課	春は夜汽車の窓から	315
第80課	心のはたらき	329

第 41 課

うでくらべ

始めの時間_____

むかし京都に、どうもという医者がいました。

それはそれはうでがよく^[1]、どんな病気でも、なおせないというものがありません。

「わしは日本一じゃ。」

そういつて、いばっておりました。

おなじころ、するがの国（静岡県）にこうもという医者がいて、これもやっぱり、

「わしは日本一じゃ。」

と、いばっていました。

けれども、ふたりとも日本一では、おもしろくありません。どちらがじょうずか、うでくらべをすることになりました。

京都のどうもがいました。

「どうだい^[2]、うでをすんと切りとって、もとのようにつけるかな。」

「そんなことはわけもない。」

こうもは平気な顔です。そこで、どうもは自分のかたうでを切り落としてみせました。

なるほど、日本一だとじまんするだけのことはありました。

するがのこうもは、落ちたうでをひろいあげ、すばやく、もとのようにつぎあわせました。

「まず、ざっとこんなぐあいだな。」

みごとなものです。つぎあわせたきずあとさえも見えません。

「まあ、京都の医者は、こんなあざやかには、できないだろうなあ。」

こうもは、そりかえりました。

「いいや、おれだって、そんなことぐらい、わけはないとも。」

「ではやってみろ。」

するがのこうもは、自分のうでを切り落としました。京都のどうものうでも、たしかなものでした。ぴたりとくっついたあとは、どこをついだか、いくらながめてもわかりません。

「なるほど、ふたりはおなじくらいとみえる。けど、うでなんかじゃしかたがない。こんどは首を落としてみろ。おれがもとどおりにしてやる。」

するがのこうもが、むねをはりました^[9]。

首のつぎくらべなんて、きいたことはありません。もとどおりにならなければおしまいです。けれども、どちらもあとにはひけないというものです。

どうもはかくごをきめて、自分の首を切り落としてしまいました。見ていた人びとのたまげたのなんの。まさかと思ったのに、すっぽんと、首を切り落としてしまったのです、こうもは、うでまくりしました。

「みんな、おどろくことはないぞ。ゆっくり見ておいで。」

そして、すぐに首をつないで、もとどおりに生かしてしまったのです。まったくあざやかなものです。

「じゃあ、こっちがつぐ番だ。」

どうもがいうので、こうものほうも首を切り落としました。あれあれと、みんながたまげているまえて、どうもはやっぱりもとどおりにつないでしまいました。

「たいしたもん^[10]だ。どっちも名人（有名的人，出名的人）だ。ふたりとも日本一だ、勝ち負け（勝負）はないねえ。」

見ている人たちが、うわさしました（传说，谣传）。しかし、どうもはしょうちしません。

「ふたりとも一番というのはおかしいや。一番というからには^[11]、ひとりではけりゃだめだ^[12]。どうだろう、かわりばんこに首を切ったっておも

れろくない。ふたりでいっしょに首をもいでみるか。」

こうものほうも負けてはいません。

「よしきた。一、二の三で切るぞ。」

ふたりは、いち、にいのさんと声をあわせて、それぞれ自分の首を切り落しました。

えらいことになりました。どっちかが生きていたら、首のつなぎようもあったでしょう。

それなのに、ふたりともごろんと首が同時に落ちたので、つなぐものがないません。

それで、とうとうふたりとも、どうもこうもすることができないまま、いつまでたっても、首なし（无头，没脑袋）でありましたとさ。

終りの時間_____

——选自《日本むかし話集》

(598个单词)

注 释

[1] “うでがよい”，意思是：“本事高强”。

[2] “どうだい”，意思是：“怎么样啊”。

[3] むねをはる〔胸を張る〕（词组）挺起胸膛。

[4] “たいしたものだ”意思是：了不起的事情。

[5] からには意思是：既然……就得……。

△やるからにはりっぱにやれ／然既干就要好好干。

[6] “なけりゃだめだ＝なければだめだ”意思是：“如果……不行；非……不行。”

生 词

1. いばる〔威張る〕（自五）自豪，自吹自擂。

2. うでくらべ〔腕比べ〕（名・自サ）比本事，赛力气。

3. つぐ〔継ぐ〕（他五）接续，缝补。

4. きりとる〔切り取る〕(他五) 切下, 割下。
5. きりおとす〔切り落とす〕(他五) 切掉。
6. みごと〔見事〕(形動) 漂亮, 彻底。
7. そりかえる〔反(り)返る〕(自五) 傲慢得挺胸腆肚。
8. ぴたり(副ト) 恰好, 正好。
9. いかす〔活かす〕(他五) 弄活, 使之复活。
10. たまげる〔魂消る〕(自下一) 吃惊, 吓一跳。
11. りでまくり〔腕捲り〕(名) 捋胳膊挽袖子。
12. よしきた〔よし来た〕(连语) 好, 行, 来吧。
13. かわりばんこ〔代り番こ〕(名) 轮班, 轮流。
14. もぐ〔挽ぐ〕(他五) 拧掉。扭下。

练 习

A組

問一、次の文の()から一番適切なものを一つ選んでその記号に「✓」をつけなさい。

1. どうもという医者は(a、京都 b、静岡県 c、奈良 d、鎌倉)にいました。
2. こうもという医者は(a、京都 b、静岡県 c、奈良 d、鎌倉)にいました。
3. どうもという医者がいばっているのは(a、わしは日本一の高い人だ b、わしは日本一のえらい人だ c、わしは日本一の医者 d、どんな病気でもなおせる)ということです。
4. うでくらべをします(a、どうもという医者 b、こうもという医者 c、みていた人 d、するがの医者)はかたうでを切りとった。
5. まず首を切り落としたのは(a、どうもという医者 b、こうもという医者 c、みていた人 d、するがの医者)です。
6. 二番目に首を切り落としたのは(a、どうもという医者 b、こうもという医者 c、みていた人 d、するがの医者)です。

問二、例文のうしろに答えが四つあります。その中から最も適切なものを一つ選んで「✓」でその記号をつけなさい。

1. 二人の医者はまずどうやってうでくらべをしましたか。
 - a、うでを切り落として
 - b、うでをもとのようについで
 - c、首を切り落として
 - d、首をもとどおりについで
2. うでくらべをするとき二人の医者はどうしてうでをきりおとしましたか。
 - a、二人は同時に自分のうでをきりおとした。
 - b、順番に自分で自分のうでをきりおとした。
 - c、互いに相手のうでをきりおとした。
 - d、相手にうでをきりおとしてもらった。
3. 首のつぎくらべをするとき、二人の医者はまずどうしましたか。
 - a、自分で自分の首をきりおとしました。
 - b、互いに相手の首をきりおとしました。
 - c、一緒に自分で自分の首をきりおとしました。
 - d、一緒に相手の首をきりおとしました。
4. 二人の医者はどのようにきりおとした首をつぎましたか。
 - a、二人は一緒に首をつぎました。
 - b、順番に相手に首をついでもらいました。
 - c、自分で自分の首をつぎました。
 - d、自分の首をきりおとしてから自分でつぎました。
5. どうもはなぜかくごをきめて、自分の首をきりおとしてしまいましたか。
 - a、首を切るのが痛いので
 - b、まけることを心配したので
 - c、うまくついでもらえるかと心配したので
 - d、相手に笑われるとこまるので
6. 二人が同時に首をきりおとしたらどんなことになりましたか。

- a、つなぐものがいなくなりました。
- b、うでくراべをすることができないようになりました。
- c、首を切りおとしてくれる人がいなくなりました。
- d、ずいぶんわらわれました。

問三、つぎの文の（ ）の中に、下の□の中からいちばん適切なものをえらんでその記号を書き入れなさい。

a、やっぱり b、ゆっくり c、しかし d、それなのに
e、からには

1. みんな、おどろくことはないぞ。（ ）見ておいで。
2. こうもという医者も（ ）「わしは日本一じゃ。」といばって、いました。
3. 見ている人たちがうわさしました。（ ）どうもはしょうちしません。
4. 一番という（ ）ひとりでなけりゃだめだ。
5. どっちかが生きていたら、首のつなぎようもあったでしょう。（ ）ふたりともごろんと首が同時に落ちたのでつなぐものがいません。

B組

問題 I 次の文の下線をつけた部分の漢字での書き方をそれぞれのa、b、c、dの中から一つ選びなさい。

この70階建てのビルは、げんだいけんちくかいにおけるさいこうのぎじゅつしゃが集まって、せっけいしたものです。

1. げんだい a、現在 b、現代 c、近代 d、先在
2. けんちくかい a、建築界 b、建設階
c、建達計 d、建逐界
3. さいこう a、最公 b、最高 c、最功 d、最広
4. ぎじゅつしゃ a、技熟者 b、技術者 c、伎実者 d、伎述者
5. せっけい a、建計 b、建経 c、設経 d、設計

問題Ⅱ 次の文の下線の部分にどんなことばを入れたらよいか。それぞれのa、b、c、dの中から一つ選びなさい。

1. 先生、今度の日曜日はお家に____ますか。
a、おいでになり b、おり c、住み d、い
2. いつもおばあさんに新聞を読んで____ます。
a、差し上げ b、いただき c、ください d、くれ
3. 学長のお話を聞いて、私はすっかり考え____しまった。
a、させられて b、ていて c、たがって d、られて
4. どういうわけ____みんなが私をきらっています。
a、で b、だ c、ね d、か
5. 彼は日本____、アメリカへまで行ったことがある。
a、どころ b、ところで c、どころか d、ところが

問題Ⅲ 次の説明文の意味を最もよく表しているものをa、b、c、d、の中から一つ選びなさい。

(台風)

熱帯海域に発生する低気圧を熱帯低気圧という。日本では、北西太平洋の域内の最大風速が17メートル以上の熱帯低気圧を台風、17メートル未満のものを弱い熱帯低気圧とよんでいる。とくに夏から秋にかけては暴風雨を伴って大陸沿岸地方に襲来し、大規模な風水害をもたらすことが多い。

- a、夏から秋にかけて北西太平洋で発生する低気圧で、中心付近の一番強い風が毎秒17メートルよりも強いものを台風とよぶ。
- b、夏から秋にかけて北西太平洋で発生する低気圧で、中心付近の一番弱い風が毎秒17メートルよりも強いものを台風とよぶ。
- c、夏から秋にかけて主に北西太平洋で発生する低気圧で、一番強い風が一秒間に17メートルより強いものを台風と呼ぶ。
- d、主に夏から秋にかけて北西太平洋で発生する低気圧で、一番強い風が一秒間に17メートルより強いものを台風と呼ぶ。

第 42 課

けちくらべ

始めの時間_____

ひどくけちな男がいました。いつも、けちをじまんにしています。いったいどんなようすかのぞいてやろう、そう思って、ひとりの友だちがたずねていきました。

夜です。それなのに、家の中はまっ暗です。

「こんばんは。」

「はい、おいでなさい。」

「まっ暗だが、病気かい。」

「いいや、油代（油钱）がおいしいからな。まあおはいり^[1]。しきいがすりへるから、戸はあけっぱなしだ。」

暗やみのおくのほうから声がします。だんだん目がなれてきました。どうやら、けちな男は、すっぱだかでへやにすわっています。

「おやおや。ふろにでもはいるのかえ。」

「ふろなんてぜいたくなものが、うちにあるもんか。なに、こうしていると着物がすりへらないもんな。外へでるときのほかは、いつも、このとおりはだかだ。」

それはそうかもしれませんが、いまは秋の終わりです。

「さむくはないのかい。かぜでもひけば薬代（药钱）が高くつくよ。」

「かぜなどひくもんか。おまえ、ちょっとさわってみろ。おれはあせをかいてる^[2]よ。」

なるほど、体じゅうが、あせでべっとりです。

「へえ、このさむいのに、すっぱだかであせをかいてる^[2]とは、どういうわけだね。」

「わけなんて、かんたんなもんだ。上を見ろよ。」

友だちは暗い天じょう（天棚）を見あげました頭の上に、でっかい石が、ほそいひもでつりさげてあるのが見えます。

「わかったか。あの石がいま落ちるか、もう落ちるがと思うと、ひとりでにあせがふきでてくる。どうだい、ちょっとのあいだ、かわってやろうか。」

「いーや、えんりょするよ。しかし、どうもなさけないねえ。おまえさんのしみったれにはあきれた。おれは帰るよ。」

けれども、まっ暗で、はきものが見えません。

「なにかあかりをかしてくれ。まるで見えないや。」

すると、すっぱだかのけち男は、台所からすりこぎを持ってくると、土間（土地的房间）をはいまわっている友だちの頭を、いきなりばかりとなぐりました。だしぬけでした。友だちは思わずとびあがりました。

「あっつう。目から火がでた。」

すかさず、はだかの男がいました。

「ほい、その火でさがせ。」

友だちははだし（光脚）のまま、すっとなで帰りました。

やがて正月になりました。友だちはなんとかして、あのけちな男のはなをあかして^[3]やろうと思いました。そこで、わらを一本お年玉（压岁钱）に持って、正月のあいさつにでかけていきました。

「やあ、新年おめでとう。おれも今年からおまえにならって、けちになろうときめたぞ。ところで、これはお年玉のしるしだ、とっといてくれ。きせるのやにとりには、いいだろう。」

そういって、わらを一本おいて帰ってきました。

いくらけちな男でも、わら一本だけのお年玉なんて、考えつかないでしょう。友だちはいい気分でした。

ところが、けちな男はつぎの日、さっそくお礼にやってきたのです。はて、どんなおかえし（还礼）を、持ってきたらうと見ていますと、つま

ようじ（牙签）のようなものを、一本さしだします。

「おや、これはなんだね。」

男はこたえました。

「うん、きのうおまえにもらった一本のわらを、一〇本に切ってみた。ほんのお年玉のしるしだが、足がしびれて（脚麻木）立ちあがれないとき、の葉にでもしておくれ。」

むかしは、しびれがきれたとき、

「しびれしびれ京へのぼれ^[1]。」

といいながら、わらの切れっぱしをなめて、おでこにはるとよいといわれていました。

けちな男は、のこったわらの切れっぱしを、だいじそうに紙につつまながら。

「さて、こんどはどこへお年玉をくぼるかな。」

と、立ちさっていきました。

終りの時間_____

——选自《日本むかし話集》

（662个单词）

注 释

- [1] “おはいり”=おはいりください。意思是：请进来。
- [2] “あせをかく”意思是：出汗。
- [3] “はなをあかす”意思是：乘人不预备先下手。
- [4] しびれしびれ京へのぼれ：从前民间流行的童歌，意思是：麻脚，麻脚，你上京吧！

生 词

- 1. しきい〔敷居〕（名）门槛。门限。
- 2. すりへる〔磨（り）減る〕（自五）磨薄，磨损。
- 3. あけっぱなし〔明けっ放し。開けっ放し〕（门、窗、盖等）开着，大

敵大开着。

4. すっぱだか〔素っ裸〕(名)赤身露体。
5. ぜいたく〔贅沢〕(名・ダナ)奢侈, 过分。
6. べっとり(副)粘满。
7. でっかい(形)大的。
8. つりさげる〔吊り下げる〕(他下一)吊挂, 悬挂。
9. ひとりでに〔独りでに〕(副)自然而然。
10. なさけない〔情(け)ない〕(形)可怜, 悲惨, 冷酷, 无情。
11. しみったれ(名・ダナ)小气, 吝啬鬼。
12. はきもの〔履(き)物〕(名)脚上穿的东西。
13. すりこぎ〔搗(り)粉末〕(名)研磨棒。
14. だしぬけ〔出し抜け〕(ダナノ)出乎意料, 突然。
15. すかす(五自)装蒜。
16. きせる〔煙管〕(名)烟袋。
17. やに〔脂〕(名)烟袋油子。△やにとり／除烟油的通条。
18. わら〔藁・稈〕(名)稻秸, 麦秸。
19. くばる〔配る〕(他五)分送, 分配。

练 习

A组

問一、次の文の(a~b)から一番適切なものを一つ選んでその記号を「V」でつけなさい。

1. けちな男のともだちは(a、夜 b、朝 c、昼間 d、晩ご飯のあと)たずねてきました。
2. けちな男の家がまっくらなのは(a、病気になった b、油代がない c、油が買えない d、あかりをつりない)からです。
3. けちな男は(a、あつい b、あせをかいた c、ふろにはいる d、着物がすりへらない)から、すっぱだでへやにすわっています。
4. けちな男は(a、ふろにはいる b、外にでる c、人がきた d、う